

出國報告（出國類別：學術會議）

# 臺灣、日本選舉投票行爲之比較研究 —參加日本選舉年會報告

服務機關：選舉研究中心

姓名職稱：黃紀（政治系講座教授暨選研中心合聘研究員）、俞振華

（選研中心助理研究員）、游清鑫（選研中心研究員）

派赴國家：日本

出國期間：5月18日至5月20日

報告日期：6月6日

## 摘要

選舉研究中心黃紀研究員、俞振華助理研究員以及游清鑫研究員參與日本選舉學會年會，黃紀研究員為「日本選舉學會」的理事，參與於5月19日舉行的理事會議。此外，游清鑫研究員與俞振華助理研究員協同庄司香教授（日本學習院大學）於研討會中一同發表“The Best Man (Woman) Wins? A Comparative Study of Candidate Selection of Parliamentary Members in Japan, and Taiwan.”一文。本文主要討論政黨的初選制度是如何選出候選人，以及政黨初選制度與選舉制度之間的相互影響效果，並以台灣和日本為例，在同樣的國會選舉制度MMM(Mixed-member Majoritarian System)下，比較台灣和日本的初選制度，以及選舉制度變革對初選制度所造成的影響。本中心同仁藉參加2012年日本選舉學會加強台灣與日本的學術合作交流。

## 目 次

一、 摘要	
二、 目的	1
三、 過程	1
四、 心得及建議	9

## 一、 目的

選舉研究中心黃紀研究員、俞振華助理研究員以及游清鑫研究員於 101 年 5 月 18 日至 20 日赴日本參與日本選舉學會年會，該年會同時舉行日本選舉學會理事會議。

黃紀研究員、俞振華助理研究員以及游清鑫研究員此行目的除進行學術研討，加強台日學術交流外，另有任務如下：

1. 黃紀研究員為日本選舉學會理事，參加理事會議，討論與政大選舉研究團隊跨國合作交流事宜。
2. 俞振華助理研究員以及游清鑫研究員則在大會上進行論文發表。



## 二、 過程

### 1. 日本選舉年會研討會部分

2012 年日本選舉學會年會於 5 月 19 日、20 日在日本茨城縣筑波大學舉辦，兩日的研討會共有多達 46 篇的論文發表，每一個時段各有 2~3 個論文發表會場，研討會主題廣泛，包含歷史、比較政治、選舉制度、地方政治、方法論等研究場次，本研討會集合眾多研究日本選舉的專家學者，同時也是日本選舉學界中年度的盛會。

本中心研究人員俞振華、游清鑫同日本學習院大學庄司香教授於第一天活動中發表 “The Best Man (Woman) Wins? A Comparative Study of Candidate Selection of Parliamentary Members in Japan, and Taiwan” 一文。

本文主要討論政黨的初選制度是如何選出選舉候選人，以及政黨初選制度與選舉制度之間的相互影響效果，並以台灣和日本為例，在同樣的國會選舉制度 (Mixed-member Majoritarian System) 下，比較台灣和日本的初選制度，以及選舉制度變革對初選制度所造成的影響。詳盡來說，在這兩個國家中 MMM 制度是有所異同的，相同的是這兩個國家皆為單一選區選制兩票制的多數決制度，不同之處在於國會(立法院)的大小、候選人席次與政黨票的比例、政黨票選區的規模、門檻值以及一些特別設計制度(如日本雙首長制)。這些異同提供了合適的題材去比較分析兩國之間的候選人提名制度。故本篇論文包含三個主題，首先是比較兩個國家主要政黨的候選人提名制度設計，特別是對選舉規則和候選人提名方法之間的關聯。第二是確認兩個國家中選出候選人的因素，最後是探討候選人提名對政黨發展的影響。

本篇文章除了受到與會人員的熱烈討論與讚賞外，兩位評論人員包括東京大學社會科學研究院前田幸男副教授及立命館大學國際研究所副教授佐佐田博敦都給予極具建設性的修改方向及建議。

本中心與會成員亦參與以英語發表的分科 panel 論文發表會，主題為 The Comparative Study of Electoral Systems データの活用 (選舉體系比較研究資料的活用)。該分科發表會由東京大學知名社會心理學教授池田謙一主持，探討「選舉體系比較研究」Comparative Study of Electoral Systems (CSES) 跨國選舉調查核心問卷模組的各個面向，包括選舉過程中媒體的應用、政治效能感題組及民主代表性議題。該分科討論會的三篇論文題目及作者分別為：

1. 小林哲郎 (国立情報学研究所)、稻増一憲 (武蔵大学)，題目為「The Effect of Media Environment on Electoral Process: Comparative Perspective Using CSES Module 3」。
2. 金 兌希 (韓國慶應義塾大学)，題目為「Comparing Political Efficacy: An analysis of CSES Data」。
3. Ian McAllister 教授 (Australia National University)，題目為「The Dynamics of Democratic Representation」。

會後本中心與會成員並與 Ian McAllister 教授討論最新的 CSES 模組 (CSES Module 4)，McAllister 教授為國際性 CSES 協會主席，已應本中心「台灣選舉與民主化調查」(TEDS) 計畫邀請，將於今年 11 月初的 TEDS 研討會發表專題演說，TEDS 為選舉研究中心做為計畫總部至今執行已 12 年的全國性面訪計畫，CSES 的核心問卷題組多年來皆納入「台灣選舉與民主化調查」計畫的問卷當中。



## 2.日本選挙学会理事會議部分

黃紀研究員於會議中提出有關台、日選舉學會合作交流建議，台灣目前尚未成立選舉研究學會，因此特向日本選舉學會推薦與政治大學選舉研究中心合作，一來本中心研究人員早已每年固定參與日本選舉學會，二來政治大學選舉研究中心在台灣政治學界中數一數二的機構，故希望促成政治大學選舉研究中心和日本選舉學會之間有正式合作交流。希望雙方未來能夠向國際學術交流合作的方向邁進。

日本選舉學會於本次理事會議選出並宣佈新任理事會長人選，將由日本學習院平野浩教授接任，平野浩教授表示正式交流將於今年八月新舊任交接後啟動，並承諾於未來一年積極促成與選舉研究中心的合作事宜。

3.二天研討會議程如下：

**2012年度 日本選挙学会 総会・研究会プログラムを公開いたします**

**【第1日】 5月19日(土)**

**分科会 A・B・C (10:00~12:00)**

**【分科会 A (政治過程部会) : 政治過程におけるジェンダー】**

◇司会者

稗田 健志 (早稲田大学)

◇報告者

辻 由希 (立命館大学)

「レジーム再編と女性首長」

堀江 孝司 ( 首都大学東京 )  
「日本のジェンダー平等政策・少子化対策と政治過程」

大木 直子 ( お茶の水女子大学 )  
「政党の女性候補者戦略についての一考察」

◇**討論者**

稗田 健志 ( 早稲田大学 )

【分科会 B ( 歴史部会 ) : 政党政治と選挙のあいだ-周辺からみた選挙と正当性】

◇**司会者**

季武 嘉也 ( 創価大学 )

◇**報告者**

若月 剛史 ( 東京大学 )  
「政党内閣期における技術官僚の政党・選挙観」

伊東 久智 ( 早稲田大学 )  
「『院外青年』からみた普通選挙と政党政治-鈴木正吾と西岡竹次郎の普選認識及び政治運動を中心に-」

小田 義幸 ( 武蔵野大学 )  
「占領初期のメディアと政党政治の再生」

◇**討論者**

有馬 学 ( 九州大学 ) ・ 平野 浩 ( 学習院大学 )

【分科会 C ( 比較部会 I ) : アジアの選挙】

◇**司会者**

川中 豪 ( アジア経済研究所 )

◇**報告者**

川村 晃一 ( アジア経済研究所 )  
「インドネシアの大統領制と政党組織 : 大統領化する政党、大統領化しない政党」

三輪 博樹 ( 北海道大学 )  
「スリランカにおける大統領制と政党組織 : 強力な大統領は政党組織をどう変えるのか」

HONG Jae Woo ( Inje University ) ・ KIM Hyung Cheol ( Sungkonghoe Univeristy )  
「Coalition Solutions on Perils of Presidentialism」

◇**討論者**

川中 豪 ( アジア経済研究所 )

◆**理事会 (12:05 ~ 12:55)**

◆**分科会 D ・ E ・ F (13:00 ~ 15:00)**

**【分科会 D ( 法律・制度部会 ) : 選挙制度の思想と管理】**

◇司会者

湯浅 壘道 ( 情報セキュリティ大学院大学 )

◇報告者

大西 裕 ( 神戸大学 )

「選挙管理の多様性」

岡崎 晴輝 ( 九州大学 )

「選挙制度改革の政治思想—第 1 次細川・河野会談を中心に」

高 選圭 ( 大韓民国中央選挙管理委員会選挙研修院 )

「韓国の在外選挙における在外有権者の認識と投票参加」

◇討論者

河村 和徳 ( 東北大学 ) ・ 柳瀬 昇 ( 駒澤大学 )

**【分科会 E ( 議会部会 ) : 議員と政党】**

◇司会者

藤村 直史 ( 神戸大学 )

◇報告者

濱本 真輔 ( 北九州大学 )

「民主党政権下の内閣・党人事—野党時代からの連続と変化—」

飯田 健 ( 神戸大学 )

「議員行動に対する政策要因の影響: 大阪維新の会の事例を通じて」

Yu, Ching-Hsin ( 国立政治大学 ) ・ Yu, Eric Chen-hua ( 国立政治大学 ) ・ 庄司 香 ( 学習院大学 )

「The Best Man (Woman) Wins? A Comparative Study of Candidate Selection of Parliamentary Members in Japan, and Taiwan」

◇討論者

前田 幸男 ( 東京大学 ) ・ 佐々田 博教 ( 立命館大学 )

**【分科会 F ( 社会心理部会 ) : The Comparative Study of Electoral Systems データの活用】**

◇司会者

池田 謙一 ( 東京大学 )

◇報告者

小林 哲郎 ( 国立情報学研究所 ) ・ 稲増 一憲 ( 武蔵大学 )

「The Effect of Media Environment on Electoral Process: Comparative Perspective Using CSES Module3」

金 兌希 ( 慶應義塾大学 )

「Comparing Political Efficacy: An analysis of CSES Data」



Ian McAllister (Australia National University)  
「The Dynamics of Democratic Representation」

◇**討論者**

西澤 由隆 (同志社大学) ・ Gill Steel (同志社大学)

◆**共通論題：議員定数不均衡問題を考える (15:15～17:45)**

◇**司会者**

山田 真裕 (関西学院大学)

◇**報告者**

岡田 信弘 (北海道大学)

「2011 (平成 23) 年最高裁大法廷判決の憲法学的検討—「法」と「政治」の接点で考える—」

小林 良彰 (慶應義塾大学)

「議員定数不均衡による民主主義の機能不全～政治学の立場から」

和田 淳一郎 (横浜市立大学)

「一票の平等～経済学の立場から」

◇**討論者**

伊藤 光利 (関西大学) ・ 森脇 俊雅 (関西学院大学)

◆**総会 (17:45～18:30)**

◆**懇親会 (18:45～)**

---

**【第2日】 5月20日 (日)**

---

◆**分科会 G・H・I (10:00～12:00)**

**【分科会 G (地方部会)：地方選挙とポピュリズム】**

◇**司会者**

砂原 庸介 (大阪市立大学)

◇**報告者**

木寺 元 (北海学園大学)

「『ポピュリズム』と『アイディア政治』」

松谷 満 (中京大学)

「有権者から見るポピュリズム—東京・大阪・名古屋の調査から」

鵜飼 健史 (法政大学)

「ポピュリズムの輪郭を考える—人民・代表・ポピュリスト」

◇**討論者**

待鳥 聡史 ( 京都大学 )

【分科会 H ( 方法論部会 ) : 政治学方法論の最前線 : チュートリアル】

◇**司会者**

川人 貞史 ( 東京大学 )

◇**報告者**

山本 鉄平 ( Massachusetts Institute of Technology )

「Recent Developments in the Statistical Analysis of Multiparty Elections ( 多党選挙の統計分析における最近の動向 ) 」

根本 俊男 ( 文教大学 )

「選挙制度の評価とデザインへの最適化モデルの活用 -大規模データに基づく一票の格差の縮小限界導出-」

◇**討論者**

大村 華子 ( 京都大学 ) ・ 前田 耕 ( ノーステキサス大学 )

【分科会 I ( 比較部会II ) : 中東諸国の選挙】

◇**司会者**

浜中 新吾 ( 山形大学 )

◇**報告者**

石黒 大岳 ( 神戸大学 )

「制限連記制下での候補者連合の形成と有権者の投票行動 : クウェートにおけるイスラーム主義勢力の動向を中心に」

金谷 美紗 ( 上智大学 )

「権威主義体制時代におけるアクター間関係と民主化移行への影響 -革命後エジプトの出発選挙に注目して-」

荒井 康一 ( 上智大学 )

「10%阻止条項つき比例代表制下の政党と有権者の合理的選択 ~トルコにおける親クルド政党を中心に」

◇**討論者**

山尾 大 ( 九州大学 ) ・ 中井 遼 ( 早稲田大学 )

◆**理事会 (12:10 ~ 13:10)**

◆**ポスターセッション : 選挙研究のフロンティア (13:30 ~ 14:50)**

河村 和徳 ( 東北大学大学院 )

「東日本大震災における被災地の選挙」

前田 幸男 (東京大学)

「政党支持の変動 - 2007 年から 2011 年まで - 」

田中 智和 (関西大学大学院)

「地方議会の定数減を考える」

鶴谷 将彦 (立命館大学大学院)

「政権交代後の自民党地方組織」

細貝 亮 (早稲田大学大学院)

「選挙キャンペーンと有権者の政治的学習」

松本 一輝 (平成国際大学)

「2012 年台湾総統・立法院選挙」

矢内 勇生 (早稲田大学)・籠谷公司 (Trinity College, Dublin)

「Scramble! External Threats, U.S. Bases, and Prudent Voters in Okinawa」

茨木 正治 (東京情報大学)

「政権交代前後 (2009 年) の新聞・雑誌マンガにみる政治」

増山 幹高 (政策研究大学院大学)・竹田 香織 (政策研究大学院大学)

「いかに見たい国会審議映像に到達するか？」

岡田 陽介 (慶應義塾大学)

「投票行動の記憶のパネル・データ分析--投票方向の記憶が後の政治意識・投票参加に与える効果--」

三村 憲弘 (早稲田大学)・山崎 新 (早稲田大学大学院)

「反論提示と態度変化: 政治的議論において党派・知識が果たす役割」

平野 淳一 (神戸大学)

「市長選挙・衆議院選挙における対立構図のパターンの連動性」

遠藤 晶久 (早稲田大学大学院政治学研究科)

「動員交差圧力と投票行動」

#### ◆分科会 J・K・L (15:00~17:00)

【分科会 J (書評セッション) : 竹中治堅『参議院とはなにか』】

##### ◇司会者

待鳥 聡史 (京都大学)

##### ◇討論者

平野 貞夫 (元参議院議員)

建林 正彦 (京都大学)

##### ◇リプライ

竹中 治堅 (政策研究大学院大学)

## 【分科会 K (自由論題I)】

### ◇司会者

岩崎 正洋 (日本大学)

### ◇報告者

松田 なつ (イエール大学)

「When are Working Women's Voices Heard in the Policy-making Processes?」

孫 斉庸 (東京大学)

「政治資金制度における規制レベルの多様性をもたらす要因」

善教 将大 (立命館大学)

「有権者の中の「地方」 - なぜ地方政府への信頼は高いのか - 」

### ◇討論者

増山幹高 (政策研究大学院大学) ・ 日野愛郎 (早稲田大学)

## 【分科会 J (自由論題I)】

### ◇司会者

三竹 直哉 (駒澤大学)

### ◇報告者

石川 葉菜 (東京大学)

「社会福祉に対する政策態度：なぜアメリカでは未だにウェルフェアが嫌われているのか？」

渡邊 容一郎 (日本大学)

「2011年イギリスの決断：選挙改革をめぐる国民投票結果とその意味」

鄭 夙芬 (國立政治大學)

「Taiwan Identity in Taiwan Electoral Politics」

### ◇討論者

富崎 隆 (駒澤大学) ・ 岸川 毅 (上智大学)

---

## 三、 心得及建議

結束了近兩日參與日本選舉學會的行程，發覺台灣缺乏一個類似「日本選舉學會」的學術機構，然而選舉研究中心不僅具備國內優秀研究人員、豐富的選舉資料庫、專業的訪問調查研究中心，因此未來希望將選舉研究中心推向一個國際級的研究中心，與跨國研究單位建立規範性的合作。但是，期許未來能有更多頂大計畫的資源協助下，使本中心能進一步邁向國際級的研究中心。」